

## 県大会などドロー作成のルール（令和2年度）

以下の原則に従い、顧問代表者会議（またはそれに代わる会議）においてドローを作成する。なお、特殊な事情については、顧問代表者会議で検討する。

### 1 県総体（ドローサイズ 16）

- ①前年度県新人大会の優勝校を第1シード、準優勝校を第2シードとし、地区予選を免除する。  
前年度県新人大会3・4位の学校の属する地区の基本数をそれぞれ1増やす。
- ②地区予選勝ち上がり校のうち、前年度県新人大会において、第3・4位に入った学校をそれぞれ第3・4シードに配置する。
- ③上記②の学校が地区予選で敗退した場合、以下の条件を満たす学校から第4シードまでの残りのシード校を選ぶ。
  - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
  - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ④残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。

### 2 新人大会団体戦（ドローサイズ 16）

- ①地区予選を勝ち上がった学校を県大会出場校とする（地区予選免除の学校を設定しない）。  
IH 県予選優勝校・準優勝校が属する地区の基本数をそれぞれ1増やす。
- ②県大会出場校のうち、以下の条件を満たす学校から県大会第1～4シードを選ぶ。
  - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
  - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ③残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。

### 3 IH 県予選および県新人大会シングルス（ドローサイズ 32）

- ①エントリーのあった選手のうち、高体連シングルスポイントランキング上位8名を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり選手のうち、ポイントランキング上位4人を第9～12シードに配置する。
- ③残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として地区予選勝ち上がり選手同士の1回戦は同地区同士の対戦にしない。また、地区予選免除選手との1回戦は同校同士の対戦にしない。

### 4 IH 県予選および県新人大会ダブルス（ドローサイズ 24）

- ①エントリーのあった組のうち、高体連ダブルスポイントランキング上位4組を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり組のうち、ポイントランキング上位4組を第5～8シードに配置する。
- ③残りの組はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1回戦は同地区同士の対戦にしない。

### 5 強化合同練習会・予選

- ①予選ドロー会議前日に公式HP上に掲載されている該当種目ポイントランキングにおける上位4人（組）を予選免除とする。なお、ポイントランキングは行われる当該種目のものを参照する。
- ②上記①以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロックシードに配置する。  
上記①以外のポイント保持者（組）がブロック数を下回る場合、残りのブロックシードは顧問代表者会議で決める。
- ③上記①②以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロック裏シードに配置する。
- ④残りの選手（組）はドロー抽選ソフトによる自動抽選でドロー位置を決める。

### 6 強化合同練習会・本戦（ドローサイズ 単 32、複 男子 32・女子 24）

- ①予選免除の4人（組）をポイントランキング順にシードする。
- ②予選勝ち上がり選手のうちポイントランキング上位4人（組）を第5～8シードに配置する。
- ③残りの選手（組）はフリー抽選でドロー位置を決めるが、初回戦は同校同士の対戦にしない。

（.....は今年度追加・改訂部分）